

# 市議会あんな話・いじんな話

第17話

## 「大正初と戦後初の

### 市会議員選挙」

明治22年4月の市制施行後の市会議員の任期は6年で、3年ごとに半数ずつ改選されていましたが、その後、大正2年3月に実施された大正時代初の選挙から、任期は4年となりました。

この選挙では有権者の出足がよく、投票会場のあった当時の市庁舎の狭い通路は順番を待つ人で身動きできないほどの混雑となったようです。新聞では「機敏なる商人は、市庁構内にすし屋やみかん店を開きたるが、空腹の有権者、運動員等店頭につめかけて、非常なる繁昌をきたしたり」と報じられるなど、今では考えられないような状況でした。

また、昭和22年4月に実施された

戦後初の選挙は、婦人有権者の投票が行われるとともに、被選挙権が30歳以上から25歳以上に改められた画期的な選挙となりました。定数40人に対し112人が立候補、投票率は68・28％に達する中で、特に注目を浴びたのは、ただ一人の女性候補が当選したことでした。

今年の4月には市議会議員選挙が予定されていきます。皆さんのお切な一票を忘れずに投票しましょう。



昭和当時の投票の様子